

今回は、弊研究所所長内川昭比古がサービス会員部長を務めております社団法人日本フランチャイズチェーン協会の活用方法についてご案内致します。

社団法人日本フランチャイズチェーン協会（Japan Franchise Association）は、フランチャイズ・ビジネスの健全な発展を図り、流通にかかわる企業の経営水準の向上と経営の合理化に寄与することを目的に、1972年（昭和47年）4月、経済産業大臣によって社団法人として認可を受けた公益法人です。会員はフランチャイズ・ビジネスを営む日本の代表的なフランチャイザー、およびフランチャイズ・システムに関心を持ち、協会の趣旨に賛同する企業によって構成されています。

協会では、毎週水曜日の午前10時から午後5時までの間、加盟に関する相談や本部構築に関する相談、また加盟店と本部とのトラブルに関する相談等すべて無料で実施しています。ただし、相談者が多いため、事前予約制となっています。その他、フランチャイズ・ビジネスに関する資料や書籍の閲覧も一部することができます。

また、協会の会員の種類と資格については次の通りです。

（正会員）

協会の「倫理綱領」に賛同するフランチャイザーで、次の資格を満たすもの。

1. 個人または法人等の目的および活動が、公の秩序または善良な風俗に反する恐れがないものであること。
2. 個人または法人等の財務および経営が健全であること。
3. 当該フランチャイズ・システムにかかわる契約事項を自ら実行し、その効果を現に挙証しうる事例を有するものであること。
4. 申し込み時点に、日本国内において、2年以上の実績を有するフランチャイジーを原則として10以上有するものであること。
5. 当該フランチャイズ・システムに関する契約の解除、または実行不能の件数が過去2年間にその年に有する契約数の20%を超えないものであること。

（準会員）

協会の「倫理綱領」に賛同する企業で、現にフランチャイズ事業を営む個人または法人で、協会へ申し込んだもののうち、資格を満たしていないと判定されたもの。

（研究会員）

フランチャイズ・システムに関心を持つ個人または法人等であって、現在フランチャイジーを有しないが、協会の「倫理綱領」に賛同し、協会の研究活動に参加するもの。

（賛助会員）

フランチャイズ・システムに関連する事業を営むものおよび協会の趣旨に賛同するもの。

以上が協会の概要ですが、フランチャイザー並びにフランチャイジーに於かれましても、フランチャイズでは唯一の公益法人である社団法人日本フランチャイズチェーン協会をおおいにご活用頂ければと思います。

前回に続き、今回も「ケンタッキー・フライド・チキン」の創業者である「カーネル・ハーランド・サンダース」の続編をお届けします。

【ケンタッキー・フライド・チキン】（4）

（3）KFCのフランチャイズ化

〈1〉サンダース・カフェの破局

「サンダース・カフェ」は、交通量の多い国道 25 号線沿いにありました。しかも、レストランが建てられている場所は、そこから別の道路に分かれた分岐点になっていて、国道を走ってくる車からは、あたかも道の真中に店があるかのように見えました。つまり、「サンダース・カフェ」の立地条件は最高に恵まれていたのです。

ところが、1950 年代に入ると、国の政策で道路整備のために、国道 25 号線は迂回路が作られ「サンダース・カフェ」の客数は激減してしまいました。迂回路ができてから、1 年も経たないうちに、国道 25 号線に代わるハイウェイ 75 号線の計画が発表されました。しかも、このハイウェイは、コービンの町をバイパスするものでした。

これまでのカーネルの人生は、逆境に見舞われるたびにそれを乗り越えてきましたが、弱りました。そして、今まで年金の支払いを滞りなく支払い続けたので、暮らしに困らないくらいの額が支給されるだろうと思っていましたが、月に 150 ドルしか支給されないとわかり愕然としました。カーネルは、このときほど、人生の厳しさをいやというほど噛みしめました。

〈2〉フランチャイズの行商

「こんなことにヘコたれてどうするか。俺の発明したフライド・チキンの製法は、必ずアメリカ人に分かってもらえる日がくる」と考えました。

そこで、カーネルが考えたのは、自分でレストランを持たずに、フライド・チキン・ビジネスを行うには、「自分のフライド・チキンの作り方を他のレストランに売る」というもので、この原点は「どうしたら他の人に喜んでもらえるか」ということでした。それともう一つは「フライド・チキンの味に絶対の自信をもっていた」ことでした。

カーネルの再出発は、1955 年で 65 歳のときであり、自分が考案した「KFC」のフランチャイズの行商でした。彼は旧知のピート・ハーマンを訪ね、自分のフライド・チキンを食べてもらいました。ピート・ハーマンは「カーネルのフライド・チキンの名前は『ケンタッキー・フライド・チキン』がいいと思う」と言ったほど、高い評価をしました。

カーネルがピート・ハーマンを再度訪ねたときに、ピート・ハーマンはフライド・チキン・ビジネスに情熱を持ち、カーネルとチキン 1 羽につき 4 セントを支払う条件

1. リクルート アントレフェア in 東京
「有望フランチャイズ大研究」

日 時 4月19日 土曜日 15時15分～16時

講 師 株式会社 日本フランチャイズ総合研究所
代表取締役所長 内川 昭比古

会 場 東京ビッグサイト西3ホール

セミナー内容 フランチャイズ・チェーンの基礎知識から、有望フランチャイズの見分け方、フランチャイズ本部と上手に付き合う方法など、専門家ならではのチェックポイントを公開。また、弊社のフランチャイズ加盟サポートシステムをご紹介します。

参加費 無 料

お問い合わせ先 リクルート・アントレ FC&独立開業フェア 事務局
<http://entre.yahoo.co.jp/info/fair/index.html>

2. 「フランチャイズ・ビジネス本部構築・再構築セミナー」

日 時 4月24日 木曜日 13時30分～17時30分

講 師 株式会社 日本フランチャイズ総合研究所
代表取締役所長 内川 昭比古

会 場 日本フランチャイズ総合研究所 5F会議室

セミナー内容 フランチャイズ・チェーンの本部機能再構築をご検討されている方、フランチャイズ・ビジネスを構築中の方に、フランチャイズ・ビジネスの基礎知識から、構築ステップ、加盟店開発戦略まで、フランチャイズ・ビジネス本部構築について講義いたします。

参加費 24,000円

お問合せ先 日本フランチャイズ総合研究所
<http://www.the-franchise.co.jp>

3. 「フランチャイズ加盟無料セミナー」

日 時 4月26日 土曜日 14時～16時

やはり圧倒的な一位は「桜が咲く」(1)です。－()内は順位－そのほかにも「たんぽぽ」(5)「葉の花」(6)「チューリップ」(8)と、やはり春の花が咲くことで季節を感じる方が多いようです。2位に入ったのが「日差しが暖かい」(2)で、「春一番」(4)「黄砂」(21)など季節特有の自然現象もランキングされています。また、3月4月は節目の季節でもあり、「入学式」(3)「卒業式」(10)も春という季節感を象徴する出来事としてピックアップされています。そのほかでは、暖かさを「コートを脱ぐ」(7)ことで感じ、ありがたくないことですが今や国民病となりつつある「花粉症が始まる」(9)などが上位に位置しています。

「春」のイメージは「新」や「始」「暖」「華」「開」「動」「緑」など、比較的前向きで良いイメージです。「桜」に象徴されるように、自然の中での四季の移り変わる小さな変化が、新しい何かが始まることを身近に肌で感じさせます。そこから、明るい未来を連想させ、夢や希望、ワクワク感へとつながり、結局世の中全体を明るく前向きにしているようです。春は笑顔があふれています。

ビジネスマンとしてアクティブに動いている我々も、自然界の一員として、その自然の中で生かされていることを忘れず、小さな変化を感じ取れる心の余裕、その時々を季節を味わう時間のゆとりは必要です。

くれぐれもご自愛の程。

※ このメールは以下の皆様に配信させて頂いております。

- ・ 弊社コンサルタントが名刺交換をさせて頂いた方。
- ・ 日本フランチャイズ総合研究所にお問い合わせをいただいた方

※ ご意見、ご要望、ご質問は下記アドレスまでご連絡ください。
尚、配信停止をご希望される場合も、下記までご連絡ください。

Mail to: franchise-news@the-franchise.co.jp

発行者：株式会社 日本フランチャイズ総合研究所
代表取締役所長 内川 昭比古

〒102-0083

東京都千代田区麹町4-4 麹町シャインビル2F

TEL 03-3511-3755 (代)

FAX 03-3511-3754

<http://www.the-franchise.co.jp>

Mail to: franchise-news@the-franchise.co.jp